

2022年12月6日
首都圏新都市鉄道株式会社



2022年度上期 営業実績

- 今上期は2019年度上期以来3年ぶりの営業利益・経常利益を計上
- 輸送人員は34.3万人/日、前年同期比16%増
- 営業収益は198億円、前年同期比20%増

首都圏新都市鉄道株式会社（代表取締役社長：柚木 浩一、本社：東京都千代田区）の2022年度上期営業実績をお知らせします。

1 旅客輸送人員の概要

一日当たりの旅客輸送人員は34.3万人（前年同期比16%増、4.6万人増）となりました。コロナ禍前の2019年度上期と比べると6.9万人の減少（17%減）となりました。

一日当たり 輸送人員	2019年度上期	2020年度上期	2021年度上期	2022年度上期
	411千人	268千人	297千人	343千人

2 中間決算の概要

お客様の増加に伴い、営業収益19,828百万円（前年同期は16,589百万円）となりました。一方、営業費は17,392百万円（前年同期は18,028百万円）となりました。この結果、営業利益2,435百万円（前年同期は1,439百万円の損失）、経常利益1,298百万円（同2,501百万円の損失）、中間純利益1,050百万円（同2,500百万円の損失）となりました。

要約中間損益計算書

単位：百万円

科目	2021年度 中間	2022年度 中間	増減
営業収益	16,589	19,828	3,239
旅客運輸収入	15,796	18,991	3,194
運輸雑収	792	837	44
営業費	18,028	17,392	△635
(うち減価償却費)	(8,939)	(8,191)	(△747)
営業損益	△1,439	2,435	3,874
営業外収益	35	29	△6
営業外費用	1,097	1,166	68
経常損益	△2,501	1,298	3,800
税引前中間純損益	△2,501	1,298	3,800
法人税等	9	248	239
法人税等調整額	△10	—	10
中間純損益	△2,500	1,050	3,550

※記載金額は、百万円未満を切捨て表示しているため、記載金額と合計欄の金額が一致しない場合があります。

<参考> コロナ禍前の営業実績

2019年度上期は、営業収益24,363百万円、営業利益6,597百万円、経常利益5,599百万円、中間純利益4,737百万円でした。